

このセクションのまとめ

ファイルの操作

ファイルの操作はプログラミングをする上でよく使う機能です。次の4つの機能は、ショートカットキーを覚えることで効率的にプログラミングができるようになります。

操作	macOS	Windows
ファイルの新規作成	⌘+N	Ctrl+N
ファイルの保存	⌘+S	Ctrl+S
ファイルを閉じる	⌘+W	Ctrl+Shift+W
ファイルを開く	⌘+O	Ctrl+O

文字編集

コピー・ペーストといった次の4つの機能はVSCodeに限らずいろんなソフトウェアに共通するショートカットです。ぜひ使いこなせるようになってみてください。

操作	macOS	Windows
コピー	⌘+C	Ctrl+C
ペースト	⌘+V	Ctrl+V
元に戻す	⌘+Z	Ctrl+Z
やり直す	⌘+Shift+Z	Ctrl+Y

文字検索

文字の検索は、関数名・変数名などの文字を検索・置き換えるときなどに役立ちます。置き換えは検索ボックスのアイコンからでもできるので、検索の方だけでもショートカットを覚えておくといいですね。

操作	macOS	Windows
検索	⌘+F	Ctrl+F
置き換え	⌘+Option+F	Ctrl+H

マルチカーソル

マルチカーソルは、文字を同時に編集するための機能です。同じ文字を別の文字に置き換える編集を効率的に行えるようになります。

操作	macOS	Windows
次を選択	⌘+D	Ctrl+D

操作	macOS	Windows
すべて選択	⌘+Shift+L	Ctrl+Shift+L

コマンドパレット

コマンドパレットはプログラミング言語の機能の切り替え・ファイルの保存など、VSCodeのいろんな機能呼び出すための検索ボックスです。目的の機能呼び出す方法がわからないときは、ここから見つけてみましょう。

操作	macOS	Windows
コマンドパレットを表示	⌘+Shift+P	Ctrl+Shift+P

補完 / IntelliSense

VSCodeでは、コードを書いているときに関数名・変数名を補完してくれます。この機能をIntelliSenseといいます。言語ごとの関数名を厳密に覚えていなくても候補として表示してくれるので、効率的にプログラミングができるようになります。

操作	macOS	Windows
候補の選択	Tab	

コメントアウト

コードにコメントをつけることをコメントアウトといい、わかりやすいコードを書くために必要な機能になります。言語によってコメントアウトの記号は違いますが、ショートカットを覚えておけば自動でコメントをつけてくれるので、ショートカットだけでも覚えておきましょう。

操作	macOS	Windows
コメントの切り替え	⌘+/	Ctrl+/

タブ

タブはエディタの上の方に表示されていて、ひとつひとつのファイルを表しています。タブを直接クリックしても切り替えられますが、効率的にプログラミングをするために、ショートカットの方をぜひ覚えておきましょう。

操作	macOS	Windows
次のタブ	⌘+Shift+]	Ctrl+Tab
前のタブ	⌘+Shift+[Ctrl+Shift+Tab

ファイルの検索

ファイルはサイドバーからでも見つけられますが、ファイルの数が多くなってくると見つけるのが大変になります。ショートカットで検索ボックスを開けば、ファイル名で絞り込みながらファイルを見つけれられるので、ファイルを開く時間を大きく減らすことができます。

操作	macOS	Windows
ファイルの検索	⌘+P	Ctrl+P

エディタ分割

コードは横・縦に並べて表示することができます。エディタの分割は：

1. タブを表示したい場所にドラッグ&ドロップするか
2. アイコンをクリックする
3. タブを右クリックしてメニューを選ぶ

ことで行えます。ショートカットは長くて覚えづらいので、上のやり方からやりやすい方法で分割できるようになっておきましょう。